

しめ飾り作り



まぐべつ

'79

12

335

●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555)4-2111
●編集・町民課広報広聴係 ☎内線111 ●印刷・ソーゴ印刷

りに たお金

昭和53年度決算から

昭和五十三年度に町づくりのために使われたお金は、歳入六十五億三千七百九十一万五千円、歳出は六十四億五千九百三十万二千円でした。

これは一般会計と公営企業会計以外の三つの特別会計をあわせた金額で、前年の五十二年と比較しますと、歳入では十三億五千四百五十一万千円（二〇・七％）、歳出は十三億二千五百九十四万二千円（二〇・五％）の伸びとなっています。

また、一般会計の歳出を性質別にみますと、投資的経費の伸びが大きく全体の五〇・三％にあたる二十八億九千九百八十七千円で、これは五十二年より五億六千八百八十六万八千円（二四・九％）の伸びとなりました。

一般会計

歳入

昭和五十三年年度の歳入の総額は五十六億六千三百四十四万三千円で、昭和五十二年に比較して十億五千二百七十七円の増となっています。歳入財源の構成状況は図1のとおりです。

自主財源（町が自主的に収入するお金）は十三億七千七百七十八万二千円（二三・二％）で、五十二年より二億九千九百五十六万二千円（二九・七％）の伸びとなりましたが、一般財源（使途の特定されない収入で、町税、地方譲与税などがあります）は一一・三％でした。

町税は六億千八百七十六万五千円。これは五十二年より九千六

十六万千円（一七・二％）の伸びにとどまりました。

その他の財源として国道支出金があり、歳入総額の四分の一を占めています。国道支出金は事業の一部を国や道が負担するものですが、国や道の基準が低いため町の負担が大きくなる場合があります。これを「超過負担」といい、主なものとして表2をご覧ください。

町債は十億四千九百五十万千円、歳入総額に占める割合は一八・五％（五十二年は一八・七％）で五十二年より一億八千五百九十万千円の増

公債費比率は一〇・三％（五十二年は一〇・一％）と健全財政を維持しています。

表1 各会計別決算 (単位千円)

会計名	収入	支出	差引
一般会計	5,660,343	5,601,070	59,273
国民健康保険会計	570,403	551,404	18,999
簡易水道会計	35,992	35,900	92
公共下水道特別会計	271,177	270,928	249
計	6,537,915	6,459,302	78,613

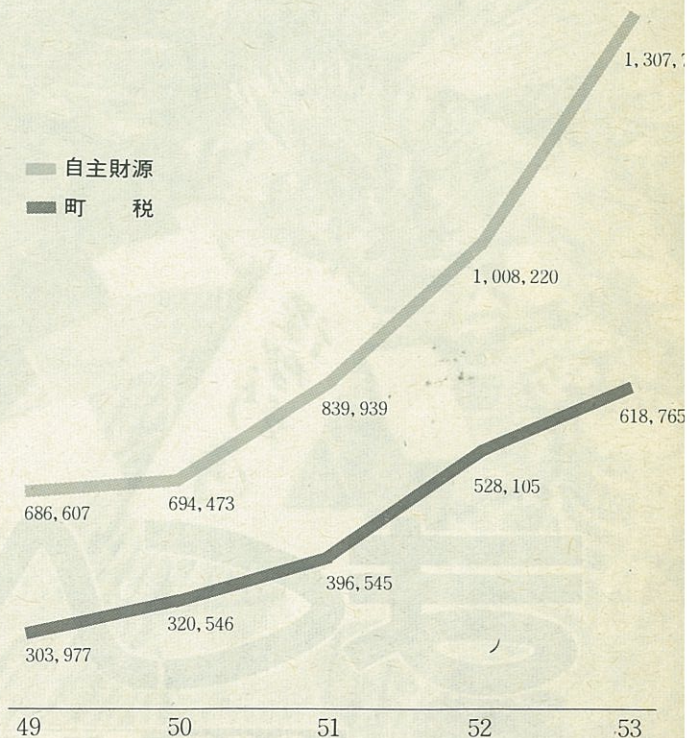
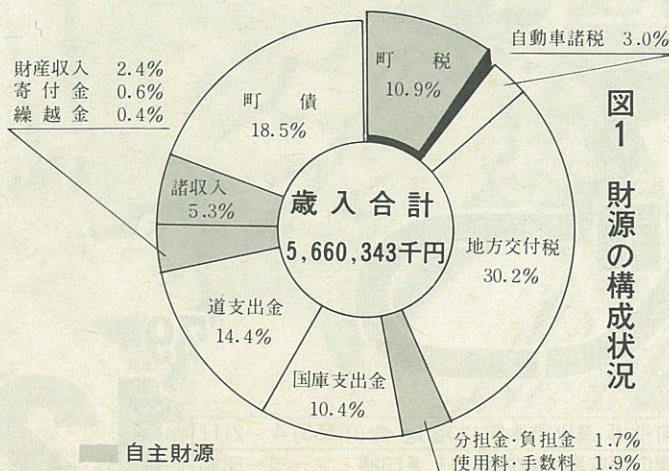
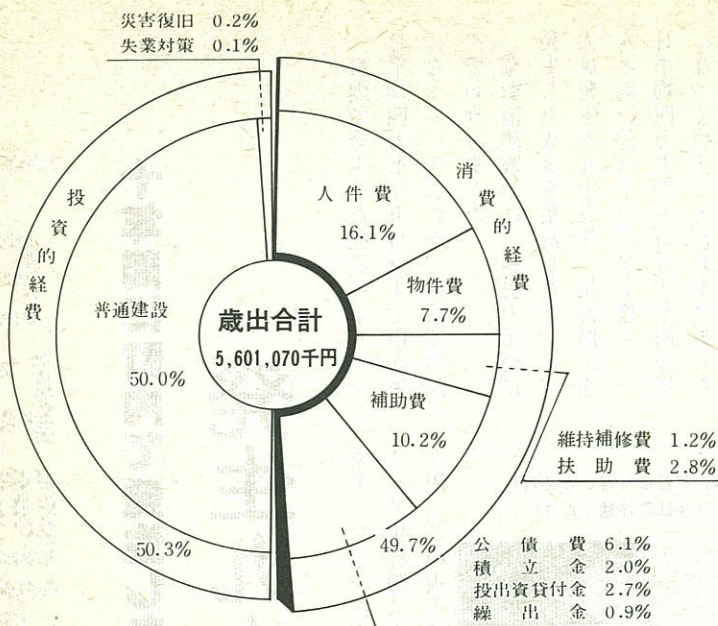


図2 最近5か年の自主財源と町税の推移

町づくりに使った

図4 支出を性質別にみると



昭和五十三年度は、立幼稚園の建設、校体育館の改築と教育施設の整備に重点をおき、また生産基盤、生活環境の整備など大型事業が実施されました。歳出の総額は五十六億七千万円で、五十二年より十億三千六百七十四万千円（二二・七％）の伸びとなりました。

財政の健全性を歳出面からみる方法として消費的経費と投資的経費の比較があり、投資的経費が高いほど望ましいとされています。五十三年度の場合は投資的経費が五〇・三％（五十二年四八・八％）と消費的経費を上回っています。図4をご覧ください。

歳出

昭和五十三年度は、立幼稚園の建設、校体育館の改築と教育施設の整備に重点をおき、また生産基盤、生活環境の整備など大型事業が実施されました。歳出の総額は五十六億七千万円で、五十二年より十億三千六百七十四万千円（二二・七％）の伸びとなりました。

災害復旧費 0.1%
公債費 6.1%
議会費 1.1%

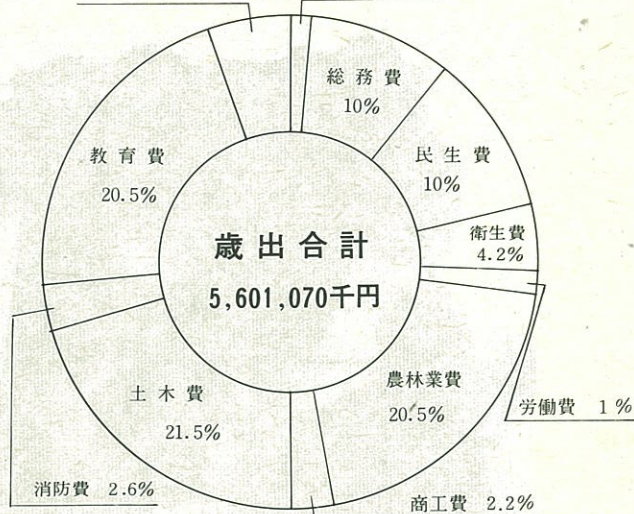


図3 支出を目的別にみると

表2 超過負担の主なもの

(単位千円)

事業名	負担率	補助対象額	補助基準額	補助金額	超過負担金
幕別小建設費	1/2	106,902	105,322	52,661	790
札内南小建設費	1/2	357,381	351,202	175,601	3,089
幼稚園建設費	1/2	65,729	59,124	19,708	2,201
国民年金事務費	%	11,935	10,418	10,418	1,517
保育所運営費	%	68,137	54,626	43,700	10,809
農業委員会経費	%	8,470	5,813	5,813	2,657

特別会計

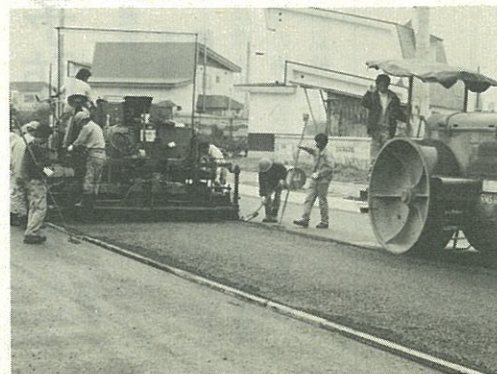
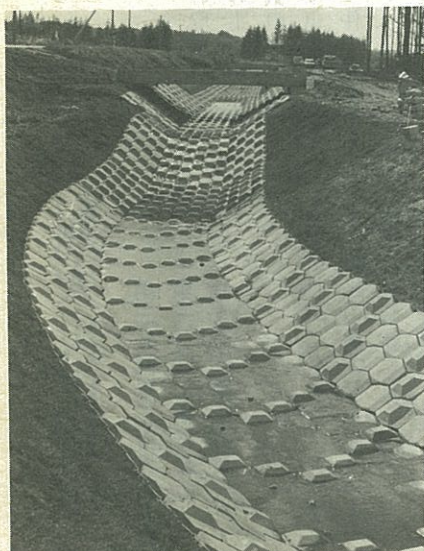
※消費的経費—支出効果が短期間で終るもの。例えば人件費など
※投資的経費—支出効果が長期に持続するもの。建設事業など。

特別会計には、公営企業のほか三つの会計があります。各会計ごとの決算は表1をご覧ください。国民健康保険には全町民の四五・二％にあたる二千五百三十一世帯、九千四十一人が加入しています。歳出総額のうち九五・五％を占めているのが保険給付で、五十三年二月に実施された平均九・六％の医療費アップが、大きく影響しています。

◀道営糠内第2畑地帯総合土地改良事業も着手されました

▼明倫小学校の屋体も完成しました

快適な生活環境をめざして市街地道路の整備がおこなわれました



一日に四万七千余円が灰に

十年間に町内で発生した火災

発生九十五件、焼死七人

町内で発生した火災により、一日平均四万七千五百五十七円が灰になっていることが、消防署の調べでわかりました。

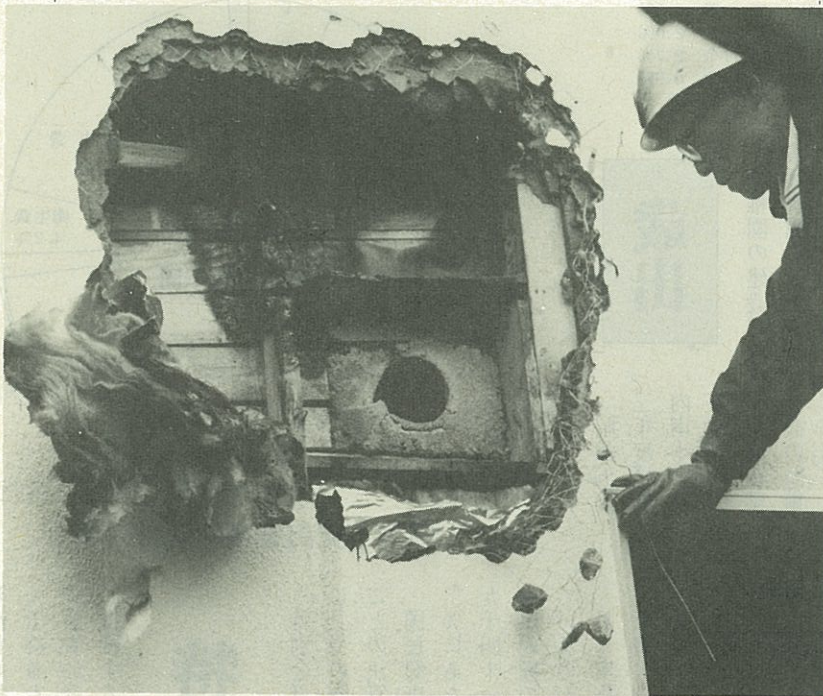
幕別消防署では、過去十年間に発生した火災を集計したところ、火災発生が九十五件、損害額はなんと約一億八千万円にも達し、一日平均四万七千五百五十七円が灰になっていることがわかりました。

この火災発生件数は、何れも十勝支庁に報告した分だけで、消防車が出動したが損害が軽いものの、ボヤの場合は報告していませんので、これらも含めるとかなりの損害額になるものとみられています。九十五件の内訳は、建物火災が最も多く七十四件、林野火災七件、車輛火災二件、その他十二件となっており、七人が死亡しています。

発生のはほとんどは不注意から

また、昨年十一月から今年八月

「めがね石」の不備から出火した現場写真です。めがね石が壁より薄いため煙突の熱で出火した跡がはっきりとわかります。新築するときはご注意ください。



末までに十一件の火災が発生し、この損害額は千三百六十九万二千円。この火災で二名が死亡して

います。これを原因別にみますと
▼めがね石部分の構造不完全二件
▼火入れによる飛火、石炭ガ

ラの残り火など火気の取扱い不備四件 ▼タバコの火の不始末一件 (死亡二人) ▼電気のココ足配線による過熱一件 ▼車輛エンジン部配線のショート一件 ▼不明一件 ▼その他一件

この原因別火災発生状況をみると、ほんのちよつと注意することによって防ぐことができたのではないかとみられるものが八件もあり、町民の皆さんが普段から注意することによって幕別から火災を追放することは可能といえます

「火災の恐ろしさは体験した者でなければわからない」と言われますが、大切な財産や尊い生命さえも奪ってしまう火災だけは、絶対に体験したくないものです。

年末年始の火災予防

町消防署では、例年、年末、年始はなにかとあわただしく、また火災が多発しやすい時期にあるため、一般家庭および事業所にたいし、次の点を守ってほしいと呼びかけています。

家庭の防火対策

■寝る前、外出前の火の元点検 ■寝たばこ、くわえたばこの禁止 ■ストーブなど燃焼器具の専門家による点検 ■燃焼器具取扱いの注意 ■ガス器具など使用後の点検 ■子供に火遊びをさせない

避難口の点検と確保

■巡視体制の強化および避難誘導体制の確立 ■消防用設備等の維持管理の徹底 ■避難口の点検および確保。

無火災更新中

第三分団千三百九十九日
第一分団二百五日
第二分団百十五日

今年八月のはじめに火災が発生以来、町民の皆さんの注意によって無火災が続いています。

十二月一日現在で第三分団管轄区域の千三百九十九日間をトップに、第一分団管轄区域の二百五日間、第二分団管轄区域の百五十日間それぞれ無火災を記録しています。この記録を更にのばすよう、火の元には十分にご注意ください。

最も完全に近い食品「牛乳」

消費拡大推進
協議会が発足

料理講習会なども計画

牛乳は最も完全に近い食品であり、また自然のままに近い食品といわれています。本町には現在七千四百八十二頭の乳牛が飼育され、うち牛乳を生産する経産牛は四千二百七十頭、年間二万二千トンの牛乳が生産されています。

最近、牛乳の生産と需要のバランスが崩れ、生産者のもとより、酪農を推進している市町村にとっても大きな問題となっています。また、我が国の牛乳飲用は世界的にみても低いところから、この完全に近い食品を町民総ぐるみで飲



消費拡大推進協議会の模様

用し、食生活の充実改善と体位の向上をためようとして、十一月七日に幕別町牛乳消費拡大推進協議会の設立総会が開催されました。

このほか、冠婚葬祭、会議などで牛乳飲用を推進するほか、贈答品に牛乳（牛乳券）乳製品の利用を促進することになっています。なお、役員氏名は次の通りで、事務局は役場農林課におくことになりました。

△会長・大石忠夫 △副会長・美濃政市、伊東吉男 △理事・森脇仁、斉藤正美、阿部初夫、生出

ご存知ですか

自転車の無灯火は
交通規則違反で違
反金がとられます

忠雄、大久保正司、木村建一、豊田満代、斉藤ミチ、千葉幹夫、白木艶子 △監事・福田智明、荒川清正 △事務局長・田井浩、同次長・村木隆、堀内鉦満

小甲さんに紺授褒章

特別養護老人ホーム札内寮に百万円を寄付した小甲千代さん（帯



広）にたいする紺授褒章伝達式が十月二十日におこなわれました。

ふるさと館ニュース

●応募者全員に無料入館券をさしあげます

小中学生の「年賀状展」

1月6日↓31日

来年の一月六日から、ふるさと館図書室で小中学生が作った年賀状の展覧会をします。ふるさと館へ年賀状が届くとお返しに年賀状（無料入館券つき）をあなたにお送りします。参加作品は小・中学生の

手書きのものに限ります。あなたが考えたアイデア、あいつぱいの楽しい年賀状をお待ちしています。



11月に提供された品

騎兵馬具 手回し計算機…(美川)小笠原正雄さん/教育用掛図…(札内桜町)照本タカさん/SPレコード 棒ばかり他…(明野)五十嵐タミさん/ラッパつき蓄音機…(糠内)松岡兵一さん/古銭…(札内文京町)阿部愛さん/もみすり機械……(依田)平野育男さん

●町内にお住まいの65歳以上の方の入館料は無料です。受付で住所とお名前をお知らせくだされば、いつでも無料で入れます。

日曜当番石油スタンド

	幕別地区	札内地区
12月9日	堂前石油	札内ツバメ
12月16日	幕別トラック	宗岡石油
12月23日	那須石油	杉本石油

12月30日の日曜日はすべての石油スタンドが休業いたしますので、正月に遠出をする方は油切れにならないよう補充しておきましょう

休館日のお知らせ●ふるさと館は12月28日から1月5日まで休館させていただきます。

冬休みにご注意

非行、交通違反も年齢低下



警察が主催して開かれた交通防犯問題懇談会

ます。犯罪別にみると次の通りです。カッコ内は前年同期。

▽犯罪少年十六人（四人）
▽触法少年三人（六人）
▽不良行為少年三十二人（三十人）
▽計五十一人（四十二人）

この五十一人の内訳は
学生・生徒が三十二人（三十一人）、有職少年十三人（六人）、無職少年七人（六人）となっています。

青少年の非行化は、ほんのちよつとした注意によつて防ぐことが出来ます。

■買い与えたものの以外の品を持っていないか
■ひんぱんに夜間外出をしないか
■部屋に煙草

七月までの非行少年についてまとめました。これによると幕別の青少年非行は前年同期を大巾に増え特に犯罪少年の増加が目立っています。

最低賃金を改正（十一月）

北海道労働基準局では、このほど道内に適用する最低賃金を改正しました。使用者はこの最低賃金より低い賃金で労働者を使用することはできません。

なお、※印に該当する繊維製品製造業、メリヤス手袋製

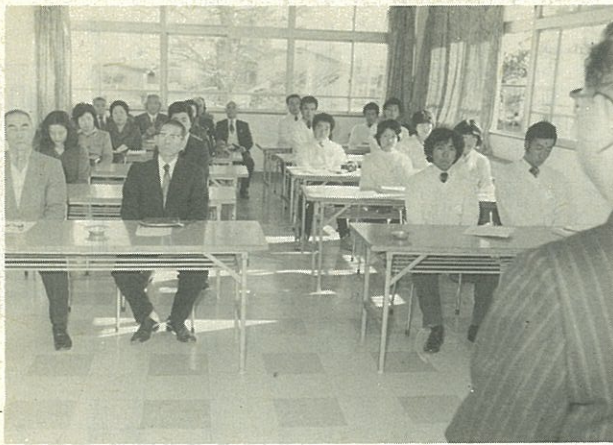
造業、製綿業に従事する者および小売業に従事する見習は下段の「上記以外の産業」の金額が適用されます。
このほか、くわしいことは労働基準監督署におたずねください。

適用産業区分		日 額		時 間 給		適用日
		一般労働者	軽 作 業	一般労働者	軽 作 業	
産 業 別	食 料 品 製 造 業	2,860	2,560	358	320	54.11.10
	繊 維 産 業	2,770	※	347	※	
	木 材、木 製 品 家 具、装 備 品 製 造 業	2,916	2,574	365	322	
	パ ル プ、紙、紙 加 工 品 製 造 業	3,201	2,629	401	329	
	出 版、印 刷 同 関 連 産 業	2,954	2,642	370	331	
	窯 業、土 石 製 品 製 造 業	2,909	2,553	364	320	
	機 械、金 属 製 品 等 製 造 業 及 び 自 動 車 整 備 業	(機) 2,995 (自) 2,945	2,578	(機) 375 (自) 369	323	
	卸 売 業、小 売 業	(卸) 2,781	(小) 2,531	(卸) 348	(小) 317	
	上記以外の産業		2,507		314	

やシンナーのにおいがしないか、などを、それとなく注意し、もし、その気配が感じられたり発見した時は、学校の先生または警察に相談し、早いうちに非行の芽をつみ取りましょう。

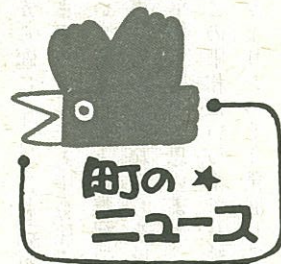
なお、一月から七月までの交通

違反は八人（十一人）と何れも高校生ですが、他の町村では中学生の違反もあり、非行、交通違反とも次第に年齢が低下しつつあるのが特長となっています。冬休み中は十分にご注意ください。



昭和20年華別町後援思い出を語る会

小樽商大OBの皆さんと幕別の皆さんで「昭和二十年幕別町援農思い出を語る会」を十一月三日に幕別温泉で開催しました。この日、一行十三名は、都合で出席出来なかった方々の家を一軒一軒おとずれて三十四年ぶりに感激の再会。また、会場の温泉ホテルでは出席した七人の方と、夜のふけるのも忘れて、楽しかった事、苦しかった事などを語りあいました。



昭和五十四年度国内研修、海外研修の結団式が十一月十二日に町民会館で開催されました。研修日程および参加人員は次の通りです。

- 勤労青年国内研修 十一月十五日から三十日まで岡山市、東郷町へ（男七人、女三人）
- しらかば大学陶芸留学 十一月十五日から三十日まで岡山県伊部町へ（男二人）
- 第四回道民の船 十一月十七日から十二月十一日まで東南アジア三か国へ（男一人、女一人）
- 婦人国内研修 十一月二十六日から十二月二日まで岡山、埼玉、東京へ（女三人）

軍岡婦人学級（高木千鶴子学級長）では、昨年につづいて菊の展示会を十一月十日に軍岡会館で開催しました。脇坂帯広菊花同好会長は審査に先だって美しい花を咲かせるための手入れなどを説明「これでは農業より大変だわ」という声もありました。審査の結果、石塚美智子さんの菊が一位になりました。



猿別公区（遠藤公区長）では、ゴミを出す日になるとゴミ集積所付近が乱雑化し、みぐるしいところから、なんとか方法がないものかと頭を痛めていました。これを聞いた神馬博和さん（神馬建設社長）が、鉄枠で作ったゴミ集積箱五コを公区に寄贈しました。写真「おかげさんでゴミもきちんと整理されるようになりました」と公区の皆さんから感謝されています。



産業貢献賞を受賞

鉾館 三雄さん

札幌中央町の鉾館三雄さんが町内では初の卓越した技能者として北海道産業貢献賞の栄にようし十一月七日に知事表彰を受けました。鉾館さんのおじいさん、それにお父さんの虎雄さんは腕の良い大工さんとして有名ですが、鉾館さんがこの道に入ったのは兄・守さん（鉾館組社長）の影響によるもの。

「いつの間にか三十五年たちました」と語る鉾館さんは、常に第一線で陣頭指揮にあたる一方、事業内職訓校の建築科長として後進の指導にあたっているほか、十勝技能士会の主席検定委員（建築大工）、道立訓練校の技能照査委員などを歴任しています。

こんにちは

受賞にあたって「思ってもみなかった名誉ある賞をいただき、ますます責任が重くなりました」と語っていました。

幕別中学校二年

加賀田 誠

ぼくのふるさと幕別町、それはすばらしい自然にめぐまれた、とてもよい町です。緑が多く空気は澄み、川の水はきれい、どこにでもありそうな町ですが、とてもすばらしい町です。また、ぼくたちの通学路である平和通りをはじめとして、数多くの道路が整備されとても便利になってきています。そして近ごろひんぱんに公園ができ始め、ぼくたちも利用しています。それから道路や公園に加え小学校や幼稚園、その他いろいろの公共施設ができて、近ごろの幕別の発展には目を見張るものがあります。

しかし、幕別町は平均的すぎると、ぼくは思います。この幕別町は、こんなことで全国に知られているということがありません。

たとえば、となりの池田町ならば秋あじとワインの町として有名ですし、現実には、そのことで成功しています。この幕別には、そういうものはありません。ぼくはこの幕別町を全国的に有名にし、産業活動を発展にさせたいのです。そして、いろいろ考えた末、次のようなことがうかびました。

まず一つめは特産物を作ることです。それも他の町ではやってない物の方がいいです。幕別でやっ

ている、池田でやっているでは価値が下がるからです。

それがどんなものになるかは、ぼくもわかりませんが、ぼくは農産物の方がいいです。それは自然を壊さずに発展できるからです。

二つめは、ここでもなにか盛大なお祭りごとがあればいいと思います。すると、ここは観光都市として発展すると思います。

以上二つ、かなり実現不可能に近いと思いますが、このようになれば、この町はもっと活気があふれてくると思います。

それから題に「住みよい幕別町」とありますが、今でも十分住みよいと思います。公害とは無縁ですし交通事故もあまり起こらないし本当に平和な町だと思います。あとは、この平和がいつまでも続いているこの町がよりいっそう発展していつてほしいです。

相川小学校六年

吉川なおみ

私が幕別町の土地に生まれてから、もう十一年という長い長い歳月がたっています。この十一年間で、いろいろな建物が建ったりするなど、生活上いろいろなことで幕別は大きく変わったと思います。そして今日まで、町で学校を建てたり、道の整備などすみよい幕別町が少しずつ築きあげられてきました。けれど、すみよくなつて

きた幕別の中で、半面、見失われている部分があります。

私は、前から幕別町は安全な町だなどと、ずっと思っていました。なのに、きずかなかつた古井戸にあやまって子供が落ちて死ぬという事故がありました。

それ以来、私は板などが道にかぶさり落ちていると、板の下に古井戸が、かくれているような感じがして不安に取りつかれ、これまで気にも留めないで「ドストス」歩いていった私が、避けて通るようになりしました。たつた、たつたひとつの不注意でも、時に命をうばわれたり、人々に不安をいだかせます。人々に大きな衝撃をあたえます。ちよつとした物事から、みるみるうちに、人々へと広がっていく。まるで川の中に石を落した時の波紋のように――。

町で、もう二度とこんなことがおこらぬように心がけているのなら、危険だと少しでも思った場所に立てふだ、または安全な施設をてつて的に取り付け、安全な町づくりをしてほしいと思います。

また、よく町の中にゴミくずを見ることありますが、ゴミくずが落ちていっていることは、町がだらしく見られてしまうと思うのです。それで町の所々にゴミ箱を付けてもらいたいと思います。けれどゴミ箱を付けても、またゴミが町の中にちらばっている時はポスターを書いたり、町で家々に

呼びかけていくという方法があります。町の中にゴミをなくすにはこのようなことをしていく必要があると私は思うのです。

すみよい幕別とは何も建物ばかり建てて自然を破かいすることではないと思います。細かく町に目を通し、少しずつ、少しずつ町をよくしていく、そしてはじめてすみよい幕別ができあがるのだらうと思います。

町民の願いは、町づくりの基本になります。町が町民の願いを聞き、町がしんらいされてすみよい町ができあがっていくのなら、すばらしいことだと私は思うのです。安全で美しく、すみよい幕別を作りあげることによって、町民の生活は向上していくのです。そのために、すみよい町を作っていくことが、よりいっそう大切になってくることだらうと私は思います。

幕別中学校二年

嶺野 仁美

私達の住む幕別町は畑作中心の小さな町だ。故郷と呼ぶにふさわしいこの町に昭和四十七年役場新庁舎ができた。そして五十四年には新幕別小学校ができ翌五十四年には長い間、私達を育て中学へ送りどけてくれた旧校舎がその姿を消した。幕別町の小さな文化財が一つ消えたのである。

しづつへつてきているように思える。大きな建物を建てるから、住宅を建てるからといって破かいされていく自然。私達が住んでいくには、もちろん家が必要だ。しかし、この土地を開拓した人々は、緑を自然を破かいするために作つたのであろうか？、こうなることを望んでいたのであろうか。きつと緑の豊富な町にと望んだのではないだろうか？、私はそう考える。

事故、私達の町でもたびたび聞かれることばだ。なかでも自転車による事故が多いのだそう。かた手で運転したり、手放しをしたり、また二人乗りをしているのをよく見かける。「危ない」と思っても注意する勇気がなく見て見ぬふりをするのが、せいじつぱいだった。そして、また私も、そんな危ない乗り方をしている。自分の命は自分で守らなければならない。皆の安心して住める、住みよい幕別町にするには、私達町民の知恵と勇気、そしてある一つのものに向つての努力がなければいけない。「役場は何もしてくれない」という他人まかせのことでなく、自分が先頭にたつてやるという強い意志が必要なのである。

緑も田畑も、そして尊い人の命をも私達は守つていかなければならない。だれの物でも、だれの町でもない。私達幕別を愛するもの、たつた一つの小さな故郷なのだから……。